

資料3 世界遺産関連年表

1972.11.16	ユネスコ総会（第 17 回）、世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約 Convention Concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage）採択。 1975 年 12 月 17 日発効。<2006 年 10 月現在の締約国は 183 カ国>
1976	世界遺産委員会を選出、世界遺産基金を設立。
1977.06.27 -07.01	第 1 回 世界遺産委員会<開催地：フランス・パリ>。「世界遺産条約履行のための作業指針」 (OPERATIONAL GUIDELINES FOR THE IMPLEMENTATION OF THE WORLD HERITAGE CONVENTION)
1978	ユネスコ、無形文化遺産保存事業開始。
1978.09.05 -09.08	第 2 回 <開催地：アメリカ・ワシントン, D.C. > 世界遺産初登録 1 2 件
1978.11	ユネスコ総会（第 20 回）、文化財返還推進のための政府間委員会設置決定。 可動文化財の保護のための勧告 Recommendation for the Protection of Movable Cultural Property
1979.10.22 -10.26	第 3 回 <開催地：エジプト・Cairo and Luxor > 「 コトルの自然と文化-歴史地域 」（モンテネグロ）を危機遺産に登録。
1980.	国際自然保護連合（IUCN）日本委員会設立。
1980.09.01 -09.05	第 4 回 <開催地：フランス・パリ>
1980.10.27	ユネスコ総会、動的映像の保護および保存のための勧告採択。
1980.10	ユネスコ総会、カイロおよびヌビア博物館建設援助キャンペーン決定。
1980.	上智大学アンコール遺跡国際調査団。
1981.	林野庁、原生林を分断する「春秋林道」建設計画を決定。 1983.4 春秋林道に反対する連絡協議会、結成。1989 林野庁、「春秋林道」建設計画を断念。
1981.09.10 -09.11	第 5 回 <開催地：Paris> ヨルダン申請の「 エルサレム旧市街とその城壁 」を世界遺産に登録。
1982.12.13 -12.17	第 6 回 <開催地：フランス・パリ> 「 エルサレム旧市街とその城壁 」を危機遺産に登録。
1983.12.05 -12.09	第 7 回 <開催地：イタリア・フィレンツェ>
1984.10.29 -11.02	第 8 回 <開催地：アルゼンチン・ブエノスアイレス> 「 ヴィエリチカ岩塩坑 」、「 ジュッジ国立鳥類保護区 」、「 ンゴロンゴロ保全地域 」、「 ガランバ国立公園 」を危機遺産に登録。
1984.12.31	アメリカ合衆国、ユネスコ脱退。（2003 年 10 月 1 日復帰） 主な理由（『ユネスコ事務局長奮闘記』）1. アメリカは、ユネスコが冷戦の中で東側陣営に与する態度を取っていると考えた。2. エムボウ事務局長が、「新情報秩序」を提唱し、西側のマスコミを批判し、報道の自由に挑戦的な態度をとった。3. ユネスコのミスマネジメント。
1985.12.02 -12.06	第 9 回 <開催地：フランス・パリ> 「 アボメイの王宮 」を危機遺産に登録。
1985.12.31	イギリス、ユネスコ脱退。1997 年 7 月 1 日復帰。
1986.11.24 -11.28	第 10 回 <開催地：フランス・パリ> 「 チャン・チャン考古遺跡地帯 」（ペルー）、を危機遺産に登録。

1987.11	フェデリコ・マヨール・サラゴサ（スペイン）、ユネスコ事務局長就任（第7代）～1999年11月。
1987.12.07 -12.11	第11回 ＜開催地：フランス・パリ＞
1988.05	竹下登首相、ロンドンにおける講演で、「世界に貢献する日本」を実現するための「国際協力構想」の三本柱の一つとして、国際文化交流の強化を挙げ、その一環として我が国が世界的な文化遺産保存のため、積極的な貢献を行うべきである旨表明。
1988.12.05 -12.09	第12回 ＜開催地：ブラジル・ブラジリア＞「 バハラ城塞 」（オマーン）を危機遺産に登録。 「 ジュッジ国立鳥類保護区 」（セネガル）を危機遺産リストから削除。
1988.12.	平山郁夫、ユネスコ親善大使に任命される。1995年10月、世界文化遺産に関するユネスコ事務局長特別顧問となる。1997年11月、ユネスコから世界文化遺産保護に関する貢献に対して金メダル表彰をうける。1999年12月、日本ユネスコ国内委員会会長に就任。
1989.11.15	ユネスコ総会（第25回）、「伝統的文化及び民間伝承の保護に関する勧告」 Recommendation on the Safeguarding of Traditional Culture and Folklore。
1989.12.11 -12.15	第13回 ＜開催地：フランス・パリ＞「 ヴィエリチカ岩塩坑 」を危機遺産に登録。 「 ンゴロンゴロ保全地域 」（タンザニア）を危機遺産リストから削除。
1989	「文化遺産保存日本信託基金」設立。2000年末までに合計3,799.8万米ドルを拠出し、計15カ国にある18遺跡について保存・修復事業を実施。
1990.06.10	春秋林道に反対する連絡協議会、解散式。白神山地、南西諸島（石垣島のサンゴなど）の世界遺産登録を政府に求める運動の展開を決める。
1990.12.07 -12.12	第14回 ＜開催地：カナダ・バンフ Banff, Alberta, > 「 トンプクトゥ（伝説の都市） 」（マリ）を危機遺産に登録。
1991.01.12	日本自然保護協会、「世界遺産国際セミナー」を東京都内で開催。
1991.11	ユネスコ事務局長、アンコール遺跡救済アピール。
1991.12.09 -12.13	第15回 ＜開催地：チュニジア・カルタゴ＞ 「 ドゥブロヴニク旧市街 」（クロアチア）を危機遺産に登録
1992.04.	文化庁、「世界遺産条約の批准に伴い講ずべき施策の在り方に関する調査研究協力者会議」を設置。
1992.06.30	日本、世界遺産条約の受諾書寄託。6月19日、国会承認、6月26日、受諾の閣議決定。発効は9月30日。125番目の締約国。
1992.09	日本、世界遺産委員会に暫定リスト（10件）を提出。
1992	ユネスコ世界遺産センターを設置。所長：ベルント・フォン・ドロステ（～1999年1月末）。
1992.12.07 -12.14	第16回 ＜開催地：アメリカ、サンタフェ＞ 世界遺産リスト登録の作業指針に「 文化的景観 Cultural landscape」の概念を採用。 「 ニンバ山巖正自然保護区 」（ギニア、コートジボワール）、「 サンガイ国立公園 」（エクアドル）、「 マナス野生生物保護区 」（インド）、「 アイルとテネレの自然保護区 」（ニジェール）、「 アンコールの遺跡群 」（カンボジア）を危機遺産に登録。「 スレバルナ自然保護区 」（ブルガリア）、「 プリトヴィツェ湖群国立公園 」（クロアチア）、「 ガララン国立公園 」（コンゴ）を危機遺産リストから削除。
1993	世界遺産都市機構（OWHC）設立。
1993	「無形文化財保存振興日本信託基金」設立。
1993.12.06 -12.11	第17回 ＜開催地：コロンビア・カルタヘナ Cartagena, Colombia＞ 「 エヴァグレース国立公園 」を危機遺産に登録。 日本：屋久島、白神山地、法隆寺地域の仏教建造物、姫路城

1994	アンコール遺跡保存事業開始。
1994.09.01	文化庁、「近代の文化遺産の保存・活用に関する調査研究協力者会議」を設置。1995年6月27日、原爆ドームの文化財史跡指定。
1994.11	文化庁・奈良県・ユネスコ世界遺産センターなど、「世界文化遺産奈良コンファレンス」、開催。木造建築のオーセンティシティ（真正性）と保存の問題やアジア独特の価値観などについて議論。
1994.12.12 -12.17	第18回 ＜開催地：タイ・プーケット＞「 ヴィルンガ国立公園 」（コンゴ）を危機遺産に登録。 「世界遺産リストの均衡ある構築のためのグローバルストラテジー」を採択。 日本：古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）
1994.12.14	記念切手「世界遺産シリーズ」（第1集 姫路城）発売。第2集法隆寺・金堂、第3集屋久島・縄文杉、第4集白神山地（1995年11月21日）。
1995.04	ユネスコの調査団とエジプト政府、高速道路建設による遺跡破壊が問題となった「メンフィスとその墓地遺跡-ギーザからダハシュールまでのピラミッド地帯」（エジプト）を共同調査。政府の理解により、遺跡を迂回するよう道路の計画変更。
1995.06	世界遺産ユースフォーラム（第1回）、ノルウェー・バルゲンで開催。
1995.12.04 -12.09	第19回 ＜開催地：ドイツ・ベルリン＞「 イエローストーン国立公園 」を危機遺産に登録。 日本：白川郷・五箇山の合掌造り集落
1996	ノルディック世界遺産事務所設置（オスロ）。
1996.04.	財団法人島根県並河万里写真財団、『季刊・文化遺産 VOL. 1 - 隊商都市パルミラ』を発行。
1996.04.11	ユネスコ世界遺産センター・京都市・講談社、ユネスコ世界遺産国際シンポを京都で開催。
1996.04.14	TBS、テレビ番組「世界遺産（毎週日曜日）の放映を開始。 ソニー株式会社が会社創業50周年を記念して番組提供。
1996.07.10	講談社、『ユネスコ世界遺産10：南ヨーロッパ』（ユネスコ世界遺産センター [監修]）を発行。
1996.11.05	文化庁・姫路市・姫路市教育委員会、「第1回世界遺産フォーラム」を姫路市で開催。
1996.12.02 -12.07	第20回 ＜開催地：メキシコ・メリダ＞ 新規登録37件（文化遺産30、自然遺産5、複合遺産2件）。拡大登録1件。新規保有国カ国。 合計：506件（文化遺産380、自然遺産107件、複合遺産19件）。世界遺産保有国カ国。 「 シミエン国立公園 」（エチオピア）、「 ガランバ国立公園 」（コンゴ）、「 イシュケウル国立公園 」（チュニジア）、「 リオ・プラターノ生物圏保護区 」を危機遺産に登録。 世界遺産一覧表への推薦の書類の様式を改正。1998年7月1日から適用。 日本：広島平和記念碑（原爆ドーム）、厳島神社
1997.01.01	テレビ東京、「世界遺産スペシャル」を放映。～4日。1日「都市と世界の遺産」、3日「道と世界の遺産」、4日「大自然と世界の遺産」。
1997.09.16	アジア・太平洋世界遺産ユースフォーラム（第1回）、中国・北京で開催。
1997.10.19	日本ユネスコ協会連盟、公開シンポジウム「世界文化遺産-文化財とともに生きる」を横浜で開催。
1997.12.01 -06	第21回 ＜開催地：イタリア・ナポリ＞ 新規登録46件（文化遺産38、自然遺産7、複合遺産1件）。新規保有国4カ国。 合計：522件（文化遺産418、自然遺産114件、複合遺産20件）。世界遺産保有国カ国。 「 カフジビエガ国立公園 」（コンゴ）、「 マノボ-グンダ・サン・フローリス国立公園 」（中央アフリカ）、「 オカビ野生生物保護区 」（コンゴ）、「 プトリント 」を危機遺産に登録。 「 プトリトヴィッチェ湖群国立公園 」（クロアチア）を危機遺産リストから削除。
1997	ユネスコのプログラム「世界の記録」（The Memory of The World）。1997年の登録開始以来、2007

	年までにアフリカ 12 件、アラブ 6 件、アジア・オセアニア 39 件、ヨーロッパ・北米 89 件、ラテンアメリカ・カリブ 7 件、国際組織 1 件、計 154 の記録類が登録。韓国 6 件、中国 5 件の登録。日本はまだ一件も登録なし。
1998.11.22 -11.29	世界遺産国際ユースフォーラム（第 2 回）、大阪・広島・屋久島・奈良で開催。
1998.11.30 -12.05	第 22 回 ＜開催地：日本・京都＞新規登録 30 件（文化遺産 27、自然遺産 3）。新規保有国 2 カ国。合計：582 件（文化遺産 445、自然遺産 117 件、複合遺産 20 件）。世界遺産保有国 114 カ国。 「 ヴィエリチカ岩塩坑 」（ポーランド）、「 ドゥブロヴニク旧市街 」（クロアチア）を危機遺産リストから削除。 日本：古都奈良の文化財
1999.08.01	ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所、奈良市に開設。
1999.11.15	松浦晃一郎（日本）、ユネスコ事務局長に就任（第 8 代）。
1999.11.29 -12.04	第 23 回 ＜開催地：モロッコ・マラケシュ＞ 新規登録 48 件（文化遺産 35、自然遺産 11、複合遺産 2 件）。拡大登録 5 件。新規保有国 4 カ国。合計：630 件（文化遺産 480、自然遺産 128 件、複合遺産 22 件）。世界遺産保有国 118 カ国。 「 サロンガ国立公園 」（コンゴ）、「 ハンピの建造物群 」、「 ルウェンゾリ山地国立公園 」、「 イグアス国立公園 」を危機遺産に登録。 日本：日光の社寺
2000.04.	奈良大学文学部、世界遺産コースというカリキュラムを開設。「世界中ではじめての試みですが、奈良大学でこの世界遺産学をつくります。」
2000.09.22	文化財保護審議会で「世界遺産条約特別委員会」を設置。11 月 17 日、「平泉の文化遺産」、「紀伊山地の霊場と参詣道」、「石見銀山遺跡」の 3 件の文化遺産を暫定リストに追加することを決定。
2000.11.27 -12.02	第 24 回 ＜開催地：オーストラリア・ケアンズ＞72 件の候補。 新規登録 61 件（文化遺産 50、自然遺産 10、複合遺産 1 件）。拡大登録 5 件。新規保有国 4 カ国。合計：690 件（文化遺産 529、自然遺産 138 件、複合遺産 23 件）。世界遺産保有国 122 カ国。 「 ジュッジ国立鳥類保護区 」（セネガル）、「 ラホールの城塞とシャーリーマール庭園 」（パキスタン）、「シバームの旧城壁市街（ 古都ザビード街 ）」（イエメン）を危機遺産に登録。 日本：琉球王国のグスク及び関連遺跡群
2001.03.09-	アフガニスタン・バーミアンの 2 大大仏が破壊される。
2001.05.18	ユネスコ、世界の 19 件の無形遺産を「人類の口承及び無形遺産の傑作」として発表。日本：能楽＜2003 年：28 件＝人行浄瑠璃、2005 年：43 件＝歌舞伎＞
2001.09.05 -09.10	ユネスコ世界遺産センター・文化庁・和歌山県、「アジア・太平洋地域における信仰の山の文化的景観に関する専門家会議」を和歌山市で開催。
2001.10.15	ユネスコ総会（第 31 回）。3 週間。＜9 月 11 日、同時多発テロ＞。 「文化の多様性に関する世界宣言」、「水中文化遺産保護条約」、可決。
2001.11.	ユネスコ水中文化遺産保護条約可決。
2001.12.11 -12.16	第 25 回 ＜開催地：フィンランド・ヘルシンキ＞新規登録 31 件（文化遺産 25、自然遺産 6）。拡大登録 6 件。新規保有国 2 カ国。合計：721 件（文化遺産 554、自然遺産 144 件、複合遺産 23 件）。世界遺産保有国 124 カ国。「 聖都アブ・メナ 」（エジプト）、「 フィリピン・コルディレラの棚田 」（フィリピン）を危機遺産に登録。「 イグアス国立公園 」（ブラジル）を危機遺産リストから削除。
2002.06.24 -06.29	第 26 回 ＜開催地：ハンガリー・ブダペスト＞新規登録 9 件（文化遺産 9）。拡大登録 2 件。合計：730 件（文化遺産 563、自然遺産 144 件、複合遺産 23 件）。世界遺産保有国 125 カ国。 「 ジャムの塔と考古遺跡 」（アフガニスタン）、「 ティバサの考古遺跡 」（アルジェリア）を危機遺産に登録。「世界遺産に関するブダペスト宣言」。

2003.03.03	環境省自然環境局内に「世界自然遺産候補地に関する検討会」を設置。5月26日、知床（北海道）、小笠原諸島（東京都）、南西諸島（鹿児島、沖縄県）を選定。
2003.06.30 -07.05	第27回 ＜開催地：フランス・パリ＞（中国・蘇州で開催予定が、SARS（重症急性呼吸器症候群）の影響で変更） 新規登録24件（文化遺産19、自然遺産5）。拡大登録3件。新規保有国4カ国。合計：754件（文化遺産582、自然遺産149件、複合遺産23件）。世界遺産保有国129カ国。毎年30件を上限としていた登録物件数を、2005年の世界遺産委員会から審議可能な40件に引き上げることを決める。北朝鮮から初めて申請（2002年2月）された「高句麗古墳群」について審議。 「 カトマンズの谷 」、「 コモエ国立公園 」（コートジボワール）、「 城塞都市バクー、シルヴァンシヤ一宮殿、及び乙女の塔 」（アゼルバイジャン）、「 パーミヤン溪谷の文化的景観と古墳遺跡群 」（アフガニスタン）、「 アシュール（カラット・シェルカット） 」（イラク）を危機遺産に登録。 「 コトルの自然と文化-歴史地域 」（モンテネグロ）、「 スレバルナ自然保護区 」（ブルガリア）、「 イエローストーン国立公園 」（アメリカ）を危機遺産リストから削除。
2003.07.15	国連訓練調査研究所（UNITAR）広島事務所開設。中四国地方で初の国連関係機関。「紛争からの復興」、「世界遺産」、「海洋と人間の安全保障」、「経済と金融問題」、「平和維持」、「訓練方法」の6テーマ。
2003.09.29	ユネスコ総会（第32回）。10月17日、「無形文化遺産の保護に関する条約」を可決。2006年4月20日発効。
2003.10.01	アメリカ、ユネスコに復帰・参加。ユネスコ通常予算分担率（『ユネスコ事務局長奮闘記』） 1951年 アメリカ 35%、イギリス 12.9%、フランス・中国 各6.8%、日本 1.8% アメリカ復帰前 日本 22%、ドイツ 13%、フランス 8.7%、イギリス 7.3%、イタリア 6.7%。 アメリカ復帰後 アメリカ 22%（上限）、日本 19.3%、
2004.06.28 -07.07	第28回 ＜開催地：中国・蘇州＞ 新規登録34件（文化遺産29、自然遺産5）。拡大登録6件。新規保有国5カ国。 合計：788件（文化遺産611、自然遺産154件、複合遺産23件）。世界遺産保有国134カ国。 「 バムとその文化的景観 」（イラン）、「 キルワ・キシワニとソンゴ・ムナラの遺跡 」（タンザニア）、「 ケルン大聖堂 」を危機遺産に登録。「 アンコールの遺跡群 」（カンボジア）、「 バブラ城塞 」（オマーン）、「 ルウェンゾリ山地国立公園 」（ウガンダ）を危機遺産リストから削除。 日本： 紀伊山地の霊場と参詣道 ＜日本で初めて遺産全体が文化的景観として登録＞
2005.02.	「世界遺産条約履行のための作業指針」を改定。
2005.03.31	NHK、「探検ロマン世界遺産」の放映開始。
2005.03.	巖島神社の台風被害の修復工事、再開。国宝・重要文化財の復旧事業費総額7億9000万円の85%を国が負担、残る15%を神社・県・宮島町が同額づつ負担。
2005.03.	日光の神橋の修復工事終了。1997年より8年の歳月と8億円の費用。
2005.04.01	文化財保護法の一部を改正する法律、施行。＜文化的景観＞
2005.04.	「顕著な普遍的価値」の概念に関する専門家会議、ロシアのカザンで開催。
2005.07.10 -07.17	第29回 ＜開催地：南ア・ダーバン＞新規登録件（文化遺産17、自然遺産7、自然遺産が複合遺産へ変更1件）。登録範囲変更8件。新規保有国3カ国。合計：812件（文化遺産628、自然遺産160件、複合遺産24件）。世界遺産保有国137カ国。世界遺産を保有しない国43カ国 「 ハンパーストーンとサンタ・ラウラ硝石工場群 」（チリ）、「 コロとその港 」（ベネズエラ・ボリバル）を危機遺産に登録。「 サンガイ国立公園 」（エクアドル）、「 トンブクトゥ（伝説の都市） 」（マリ）、「 ブトリントの考古遺跡 」（アルバニア）を危機遺産リストから削除。危機遺産34件。 日本：知床
2005.09	広島大学大学院「世界遺産巖島一内海の文化プロジェクト研究センター」、研究成果の報告会を開催。年10月～12月、広島大学テレビセミナー「巖島に学ぶ」。

2005.10	ユネスコ総会（第33回）、「文化的表現の多様性の保護と促進に関する条約（文化多様性条約）」を採択。
2006.04.22	石見銀山遺跡の町並み保存地区（大田市大森町）で保存修理が進められてきた国の重要文化財、熊谷家住宅の落成式、一般公開が始まる。2001年から総事業費約8億2900万円で保存修理。
2006.05.04	世界遺産劇場、始まる。第1幕 奈良・東大寺大仏殿 2006年5月4日～6日、第2幕 広島・厳島 2006年9月30日～10月1日、第3幕 京都・下賀茂神社 2006年10月26日～29日、第4幕 日光の社寺 2006年6月15日・16日。 第5幕 「紀伊山地の霊場と参詣道」 2007年10月、第6幕 「姫路城」 2007年11月。
2006.06.16	海外の文化遺産の保護に係る国際的な協力の推進に関する法律、成立。
2006.06.18	世界遺産検定（第1回）
2006.07.08 -07.16	第30回 ＜開催地：リトアニア・ヴィルニウス＞ 新規登録件（文化遺産16、自然遺産2件）。登録範囲変更4件。名称変更18件。新規保有国3カ国。合計：830件（文化遺産644、自然遺産162件、複合遺産24件）。世界遺産保有国140カ国。 危機遺産リストに「 コソヴォの中世建造物群 」（セルビア）、「 ドレスデン・エルベ渓谷 」（ドイツ）の2件を追加、「 イシュケウル国立公園 」（チュニジア）、「 ハンピの建造物群 」（インド）、「 ジューッジ国立鳥類保護区 」（セネガル）、「 ティパサの考古遺跡 」（アルジェリア）、「ケルン大聖堂」（ドイツ）の5件を削除。危機遺産数は31件。 欧州の「定期報告」。地域ごとの報告がこれで一巡。 日本から「高速道路から世界遺産・平城京を守る会」の要請団が参加。
2006.09.15	文化庁、文化審議会文化財分科会の下に世界文化遺産特別委員会を設置。2007年1月23日、24件の追加提案のうち4件＜「富士山」（山梨、静岡県）、「富岡製糸場と絹産業遺産群」（群馬県）、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」（奈良県）、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」（長崎県）＞を追加することを決める。
2006.10.24	国際シンポジウム「危機にさらされている世界遺産をどう守るか」、東京国立博物館で開催。
2007.04.01	日本で初めて、全講義をインターネットで行う4年制大学「サイバー大学」（事務局・福岡市東区）の開学・入学式、福岡市中央区のヤフードームで開催。「IT総合」「世界遺産」の2学部で計516人が入学。初代学長は吉村作治。
2007.06.23 -07.02	第31回 ＜開催地：ニュージーランド クライストチャーチ＞ 新規登録件（文化遺産16、自然遺産5（うち1件はウクライナとスロバキアにまたがる）、複合遺産1件）。拡大登録件。新規保有国2カ国（ガボン、ナミビア）。オマーンの自然遺産「アラビアンオリックスの保護区」を削除。初。 合計：851件＝（文化遺産 660件、自然遺産 166件、複合遺産25件）。世界遺産保有国142カ国。 危機遺産リストに「 ガラパゴス 」（エクアドル）、「 ニオコロ-コバ国立公園 」（セネガル）、「 サマーラ 」（イラク、新規登録）の3件を追加、「 エヴァグレース国立公園 」（アメリカ）、「 リオ・プラターノ生物圏保護区 」（ホンジュラス）、「 アボメイの王宮 」（ベニン）、「 カトマンズの谷 」（ネパール）、の4件を削除。 ??危機遺産数は30件、危機を脱した遺産は23件。 この会から文化遺産と自然遺産を統合した新「登録基準」で審議。 日本：石見銀山遺跡とその文化的景観
予定 2008.07.02 -07.10	第32回 ＜開催地：カナダ ケベック・シティ＞ 「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」

主な出典：『ユネスコ世界遺産年報』、『ユネスコ事務局長奮闘記』